



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3577 URL <https://www.tokai-senko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷲 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 河西 勝 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,094	18.3	△186	—	△112	—	△187	—
2022年3月期第2四半期	5,150	△3.7	△53	—	△23	—	7	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 248百万円 (103.2%) 2022年3月期第2四半期 122百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△58.61	—
2022年3月期第2四半期	2.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,590	7,234	45.3
2022年3月期	13,384	7,155	46.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,152百万円 2022年3月期 6,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,700	22.9	220	199.9	320	178.0	30	△38.1	9.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	3,614,252株	2022年3月期	3,614,252株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	450,450株	2022年3月期	399,229株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	3,191,843株	2022年3月期2Q	3,247,506株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、地政学的リスクによる原材料・エネルギー価格などの物価高騰やサプライチェーンの混乱に加え、急速な円安の進行に伴うインフレ圧力の強まりにより、引き続き厳しい状況で推移しました。

新型コロナウイルス対策におきましては、各種行動規制の緩和や外国人の新規入国制限緩和および入国者総数の上限撤廃など「コロナとの共存」への動きが進められており、地域経済の活性化、企業の設備投資や生産活動、個人消費の回復・正常化が期待される一方、感染拡大第8波の流行懸念など、先行きは未だ不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、国内染色加工事業では、高騰を続ける原材料・エネルギー価格に対応するため、設備改善・設備改良、生産性の向上、原材料使用の適正化などを推進したほか、受注拡大や商品の付加価値化・差別化を図るべく、新商品の開発に注力しました。

また、環境に配慮した節水活動、CO2排出量削減、薬品の回収作業などSDGsの達成に向けた取組についても継続しております。

海外染色加工事業では、主力のインドネシア子会社においては、受注は回復傾向にあり、コロナ禍前の水準に戻りつつありますが、世界的な原材料・エネルギー価格の高騰による生産コスト上昇に対応するため、生産性の向上、加工条件適正化、薬品回収の効率化、熱エネルギーの効率利用など、各種活動の推進に注力しました。

保育サービス事業では、認可保育園2件、企業内保育所6件の新規開園に加え、「日々忙しく働く保護者様」・「コロナ禍の医療現場で働く保護者様」への支援、負担軽減を目的とした、保育用品の定額制レンタルサービス「ふわっこめいと」の提供を開始しました。

洗濯事業では、ホテルリネンの回復に加え、既存取引先との新たな取組やアイテム拡大など、取扱数量の増加に注力しました。

これらの結果、売上高は6,094百万円（前年同期比18.3%増、943百万円増）となり、営業損失は186百万円（前年同期は営業損失53百万円）、経常損失は112百万円（前年同期は経常損失23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は187百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益7百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

a. 染色加工事業

染色加工事業は、売上高は4,310百万円（前年同期比18.3%増、665百万円増）となり、営業損失は264百万円（前年同期は営業損失40百万円）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。（加工料部門）

国内では、原綿価格の高騰に伴う生機価格や円安の進行に伴う輸入コスト上昇など、受注環境は悪化しました。また、原材料・エネルギー価格の高騰に対応すべく加工料金への価格転嫁を実施するも、生産コスト上昇分を吸収するに至らず、減収減益となりました。

海外では、市況の回復に伴う受注数量の増加および加工料金の値上げにより売上高は増加しましたが、国内同様、原材料・エネルギー価格の高騰による生産コストの上昇から減益となりました。

これらの結果、加工料部門の売上高は3,499百万円（前年同期比13.3%増、410百万円増）となりました。（テキスタイル販売部門）

国内では、カジュアル・ユニフォーム用途部門の販売不振により減収となりましたが、海外においては、市況回復に伴い各拠点にて大幅な増収となりました。

これらの結果、テキスタイル販売部門の売上高は810百万円（前年同期比46.1%増、255百万円増）となりました。

b. 縫製品販売事業

縫製品販売事業は、シャツやブラウス、パジャマなどの縫製品販売数量の増加により、売上高は136百万円（前年同期比33.8%増、34百万円増）、営業損失は0百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

c. 保育サービス事業

保育サービス事業は、株式会社マミーズを連結子会社化したほか、新規拠点開設により売上拡大を図っております。また、拠点開設費用や採用費・その他費用の見直しを実施した結果、売上高は1,534百万円（前年同期比17.8%増、231百万円増）、営業利益は37百万円（前年同期は営業損失27百万円）となりました。

d. 倉庫事業

倉庫事業は、新規取引先の開拓により売上は増加しましたが、燃料価格や運賃などの上昇により、売上高は120百万円（前年同期比2.5%増、2百万円増）、営業利益は9百万円（前年同期比26.1%減、3百万円減）となりました。

e. 機械販売事業

機械販売事業は、新型コロナウイルス感染症に対する各種規制の緩和に伴い、国内外ともに保守点検作業や営業活動が再開され、引き合いや受注獲得件数は増加しているが、当期の販売には至っておらず、売上高は13百万円（前年同期比32.0%減、6百万円減）、営業損失は7百万円（前年同期は営業損失13百万円）となりました。

f. 洗濯事業

洗濯事業は、既存取引先との新たな取組に加え、自治体の観光事業者支援策によるホテルリネンの回復により、売上高は56百万円（前年同期比35.6%増、14百万円増）、営業利益は1百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

g. その他事業

当セグメントには、システム事業、不動産賃貸事業が含まれており、売上高は46百万円（前年同期比7.5%増、3百万円増）、営業利益は36百万円（前年同期比7.8%増、2百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、13,590百万円（前連結会計年度末比1.5%増、206百万円増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少232百万円、商品及び製品の増加143百万円、原材料及び貯蔵品の増加137百万円、建物及び構築物の増加202百万円等によるものです。

負債は、6,356百万円（前連結会計年度末比2.0%増、127百万円増）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加91百万円、短期借入金の増加154百万円、その他固定負債の減少103百万円等によるものです。

純資産は、7,234百万円（前連結会計年度末1.1%増、78百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失による減少187百万円、配当金の支払いによる減少64百万円、その他有価証券評価差額金の増加90百万円、為替換算調整勘定の増加180百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間につきましては、国内染色加工事業におきまして、原綿価格高騰や円安進行から生地調達コストが上昇、加えて中国各地でのロックダウンの影響に伴う生地の入荷遅れ、新疆綿問題に対応するための原産地証明取得などにより、客先からの発注取消、発注の控え、小ロット化など、受注環境が悪化しました。また、原材料・エネルギー価格高騰に対応するため加工料値上げを実施するも各客先の足並みが揃わず、値上げ実施以降も基礎薬品を中心とした原材料や電気・ガスなどのエネルギー価格の上昇が止まらず、期初の想定を大幅に上回る生産コストの上昇となりました。値上げを実施するも生産コストの異常な上昇分を回収するに至らず当初予想を大幅に下回る結果となりました。2023年3月期通期の業績予想数値につきましても、2022年10月度より更なる加工料値上げを実施、生産性向上や生産コスト削減に向けた設備改善・加工条件見直し・薬品の回収再利用率引き上げ、その他生産コスト上昇への対応を実施することで収益改善を見込んでおります。しかしながら、第2四半期までの減少の影響が大きく当初予想を下回る見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,321,277	2,307,229
受取手形及び売掛金	1,933,396	1,700,526
電子記録債権	522,364	529,876
商品及び製品	174,384	317,461
仕掛品	371,142	409,178
原材料及び貯蔵品	362,346	499,413
その他	297,390	301,000
貸倒引当金	△13,751	△14,349
流動資産合計	5,968,552	6,050,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,341,925	1,543,958
機械装置及び運搬具（純額）	1,719,983	1,817,429
土地	1,757,824	1,772,991
建設仮勘定	119,598	—
その他（純額）	186,663	81,621
有形固定資産合計	5,125,995	5,216,001
無形固定資産		
のれん	—	26,167
その他	60,511	90,085
無形固定資産合計	60,511	116,253
投資その他の資産		
投資有価証券	1,885,485	1,878,550
繰延税金資産	27,965	1,087
その他	396,980	409,547
貸倒引当金	△81,466	△81,466
投資その他の資産合計	2,228,965	2,207,719
固定資産合計	7,415,472	7,539,973
資産合計	13,384,024	13,590,311

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	640,803	732,595
電子記録債務	553,251	561,190
短期借入金	1,010,000	1,164,149
未払法人税等	61,960	49,971
賞与引当金	126,720	142,964
その他	805,711	777,682
流動負債合計	3,198,446	3,428,554
固定負債		
長期借入金	1,525,000	1,495,000
役員退職慰労引当金	26,040	27,150
退職給付に係る負債	771,178	770,582
資産除去債務	63,348	93,242
その他	644,687	541,685
固定負債合計	3,030,254	2,927,660
負債合計	6,228,700	6,356,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,538,980	1,287,574
自己株式	△635,904	△694,366
株主資本合計	6,603,196	6,293,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430,575	521,489
為替換算調整勘定	△815,261	△635,019
退職給付に係る調整累計額	△23,896	△27,183
その他の包括利益累計額合計	△408,582	△140,713
非支配株主持分	960,709	1,081,481
純資産合計	7,155,323	7,234,096
負債純資産合計	13,384,024	13,590,311

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
売上高	5,150,953	6,094,088
売上原価	4,482,130	5,504,669
売上総利益	668,822	589,419
販売費及び一般管理費	722,679	775,678
営業損失（△）	△53,856	△186,259
営業外収益		
受取利息	750	272
受取配当金	30,148	35,208
為替差益	10,909	32,831
雑収入	7,164	16,926
営業外収益合計	48,972	85,239
営業外費用		
支払利息	6,708	6,356
支払手数料	3,363	3,205
雑支出	8,866	2,184
営業外費用合計	18,938	11,745
経常損失（△）	△23,822	△112,765
特別利益		
投資有価証券売却益	110,251	—
国庫補助金	71,250	105,897
特別利益合計	181,501	105,897
特別損失		
特別退職金	8,851	—
固定資産圧縮損	71,250	105,897
特別損失合計	80,101	105,897
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	77,576	△112,765
法人税、住民税及び事業税	43,218	46,799
法人税等調整額	△10,449	△1,980
法人税等合計	32,768	44,819
四半期純利益又は四半期純損失（△）	44,808	△157,584
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,786	29,521
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	7,021	△187,105

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	44,808	△157,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,171	90,913
為替換算調整勘定	85,092	319,469
退職給付に係る調整額	3,329	△4,753
その他の包括利益合計	77,250	405,629
四半期包括利益	122,058	248,045
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,466	83,942
非支配株主に係る四半期包括利益	76,591	164,102

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	77,576	△112,765
減価償却費	207,608	221,122
のれん償却額	—	1,377
特別退職金	8,851	—
国庫補助金	△71,250	△105,897
投資有価証券売却損益（△は益）	△110,251	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△19,501	△27,449
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△45	586
賞与引当金の増減額（△は減少）	20,948	4,621
受取利息及び受取配当金	△30,898	△35,481
支払利息	6,708	6,356
為替差損益（△は益）	△16,663	△35,043
有形固定資産廃棄損	3,809	—
固定資産圧縮損	71,250	105,897
売上債権の増減額（△は増加）	174,773	301,185
棚卸資産の増減額（△は増加）	△90,071	△264,900
仕入債務の増減額（△は減少）	△99,889	50,495
未払費用の増減額（△は減少）	17,462	19,841
その他	11,218	△83,552
小計	161,636	46,393
利息及び配当金の受取額	30,898	35,481
利息の支払額	△6,857	△6,341
特別退職金の支払額	△8,851	—
法人税等の支払額	△44,883	△71,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,942	4,256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	34,222	—
投資有価証券の売却による収入	133,183	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	62,673
短期貸付金の増減額（△は増加）	—	△40,000
国庫補助金の受入による収入	71,250	105,897
有形固定資産の売却による収入	891	—
有形固定資産の取得による支出	△130,047	△166,082
無形固定資産の取得による支出	△1,710	△36,464
その他の支出	△1,692	△1,188
その他の収入	2,512	5,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	108,610	△69,960
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	138,500
長期借入れによる収入	500,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△380,000	△410,000
自己株式の取得による支出	△332	△58,462
リース債務の返済による支出	△54,195	△25,308
配当金の支払額	△64,951	△64,300
非支配株主への配当金の支払額	—	△43,749
その他	334	160
財務活動によるキャッシュ・フロー	854	△63,160
現金及び現金同等物に係る換算差額	40,674	114,810
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	282,081	△14,052
現金及び現金同等物の期首残高	2,134,655	2,321,240
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,416,737	2,307,187

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	3,630,511	99,340	1,302,355	20,959	19,637	42,003	5,114,808	36,145	5,150,953	—	5,150,953
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,299	2,606	—	96,296	—	—	113,202	7,158	120,361	△120,361	—
計	3,644,811	101,947	1,302,355	117,255	19,637	42,003	5,228,010	43,303	5,271,314	△120,361	5,150,953
セグメント利益又は損失(△)	△40,439	△12,164	△27,644	12,341	△13,902	△6,456	△88,266	34,229	△54,036	180	△53,856

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額180千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	4,304,547	127,129	1,534,065	21,868	12,992	56,921	6,057,524	36,563	6,094,088	—	6,094,088
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,161	9,269	—	98,354	369	38	114,192	9,975	124,167	△124,167	—
計	4,310,709	136,399	1,534,065	120,222	13,361	56,959	6,171,717	46,538	6,218,256	△124,167	6,094,088
セグメント利益又は損失(△)	△264,635	△499	37,894	9,119	△7,483	1,349	△224,255	36,915	△187,339	1,080	△186,259

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額1,080千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「保育サービス事業」において、第1四半期連結会計期間に株式会社マミーズを株式取得により子会社化したことに伴いのれんが増加しております。当該のれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において27,544千円であります。